





栃木県森林組合連合会機関紙

発行/栃木県森林組合連合会  
 住所/宇都宮市西一の沢町8番22号  
 ☎028-637-1450 FAX028-637-1454  
 URL/http://www.tochimori.or.jp  
 E-mail/info@tochimori.or.jp



第351号

**令和7年 新年を迎えて**

栃木県森林組合連合会代表理事会長 **江連比出市**



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。  
 系統森林組合員の皆様方には、平素より県森連の事業推進に格別のご理解とご支援を賜り、深く感謝いたしております。  
 昨年は、元日の令和6年能登半島地震に始まり、異常気象等による自然災害の発生や政治局面の激動、ロシア・ウクライナ紛争の継続による物価の高騰など、先行きの予測がますます難しい年となりました。

共販事業においても、温暖化の影響による夏場の異常気象や穿孔性害虫の発生が10月上旬まで長期間続いたほか、豪雨による林道崩壊被害により木材出荷量に影響が出るなど、自然を相手に行う仕事の厳しさを改めて実感した年になりました。このような中、年間取引量は188,762m<sup>3</sup>、平均単価は13,962円/m<sup>3</sup>となり、厳しい状況となりましたが、組合の皆様のご協力に改めて感謝申し上げます。

さて、私たち森林組合系統では「JForestビジョン2030」において「伐って、使って、植えて、育てる」循環型林業の確立を目標に掲げ、主伐・再造林に取り組んでいます。政府で進めている、花粉症対策としての花粉の少ない森林への転換促進と今後も連携して、目標達成に向けて取り組んでまいります。

また、国連は本年2025年を「国際協同組合年」に定め、協同組合の発展と認知度向上、SDGsの達成やカーボンニュートラル社会の実現等に向けて一層取り組むこととしています。これを好機に栃木県内においても、森林組合系統の認知度を高め、事業や活動、組織全体の更なる発展を通じたSDGs目標達成を目指しましょう。

これらの取組には、現場を担う人材の育成・確保が急務となります。そのため、林業という仕事の良さや重要性のPRを行うとともに、機会を捉えて県内外から意欲と能力のある人材を確保していきます。就業後は、人材の労働災害防止を最優先に安全管理を徹底するとともに早期の技能向上に注力くださるようお願い申し上げます。

結びに、今年の干支は乙巳（きのとみ）。再生や変化を繰り返しつつ、伸びやかに発展していく年になると言われています。県森連においても、予算要望に努め、ドローンをはじめとするスマート林業を推進するとともに、人材育成やニーズを踏まえた木材流通改革等、積極的な事業展開を図ってまいります。

令和7年も皆様にとって幸多き一年となりますよう祈念するとともに、これまで以上のご支援とご協力をお願いいたしまして新年のご挨拶といたします。

**政策要望活動の実施**

令和6年度は、森林整備推進支援強化等の要望を栃木県林業団体連絡協議会(会長:江連県森連会長)から福田知事に対して行ったほか、令和7年度林業政策等要望を県選出自民党国会議員に対して行いました。



福田知事に要望する林団連役員

	要望内容	要望先	実施者
9月4日	令和7年度県林業施策並びに予算に関する建議・要望	福田知事	江連会長、佐橋専務、林業団体連絡協議会役員
10月16日	令和7年度林業施策・予算に関する要望	栃木県選出自民党国会議員	江連会長、佐藤副会長、県森連役員他
11月18日	令和7年度当初予算等における林野公共・非公共事業予算要望	栃木県選出自民党国会議員	江連会長、佐橋専務、林業団体連絡協議会役員

## 全国森林組合代表者大会に出席

令和6年10月16日(水)に東京銀座プロッサム中央会館にて、令和6年度JForest全国森林組合代表者大会が全国森林組合連合会主催で開催されました。

次の方々为全国森林組合代表者大会における功労者表彰や感謝表彰を受賞されました。栃木県内の受賞者を代表して県森連土谷英一参事が、会場で表彰状を授与されました。皆様のご功績に敬意を表するとともに、お祝い申し上げます。

### 功労者表彰



職員	日光市森林組合	石下宏和
作業班員等	大田原市森林組合	伊藤宝山
	芳賀地区森林組合	大森守幸
	粟野森林組合	石川晃明
	栃木県森林組合連合会	小林 司
	栃木県森林組合連合会	阿久津広幸

### 感謝表彰

職員	みかも森林組合	小林美代子
	栃木県森林組合連合会	土谷英一



挨拶する中崎全森連会長



感謝状を授与される土谷参事

## 各種研修の開催について

県森連では、森林組合指導の一環で、役職員向けの研修会を実施しています。

令和6年9月24日(火)には、理事監事研修会を行いました。講師に全国森林組合連合会組織部早瀬部長をお迎えし、新任の理事・監事を対象に森林組合の役員の役割と責務について改めて学んでいただきました。

令和6年12月19日(木)には、県森連理事を対象にトップマネジメント研修を実施しました。全国森林組合連合会系統事業部山本販売課長より、監事理事の職務や森林組合系統連携の取組について、ご講話いただきました。



理事監事研修の様子

## 2025年は「協同組合国際年」です！



国際協同組合年  
協同組合はよりよい世界を築きます

国連総会は2025年を、2012年に続き2回目の「国際協同組合年」とすることを宣言しました。協同組合の発展と認知度向上、SDGsの達成やカーボンニュートラル社会の実現等に向けて取り組むことを目標としています。

ロゴは、SDGsのグラフィックアイデンティティから着想を得た3色構成で、赤は社会、青は経済、緑は環境を表しています。これらを合わせて、よりよい世界を築くために世界中の人々が互いに結びつく様子を表しています。

これを契機に森林組合系統も協同組合の一員としてSDGsの実現に貢献していきましょう。

# 2025国際協同組合年

2025 International Year of Cooperatives



国連は、持続可能な生産と消費、食料安全保障、気候変動対策、地域の人々への医療・福祉、働きがいのある人間らしい仕事の創出、すべての人が参加できる社会づくりなど、さまざまな分野で持続可能な開発目標（SDGs）に貢献している協同組合を評価し、その認知の向上と協同組合の振興のために、2025年を国際協同組合年（International Year of Cooperatives：IYC）に決めました。

協同組合は国際協同組合年を機に、相互扶助（助け合い）の精神に基づき、持続可能な地域社会づくりにいっそう貢献してまいります。

## 協同組合はよりよい世界を築きます

Cooperatives Build a Better World

2025国際協同組合年全国実行委員会

事務局：一般社団法人日本協同組合連携機構（JCA）



2025国際協同組合年  
全国実行委員会は  
IYC2025に賛同しています。



国際協同組合年

# 協同組合の発展と認知度向上の 絶好の機会として 2025国際協同組合年を活かしましょう

## 国際年とは

国連は「一年間を通じて、平和と安全、開発、人権・人道の問題など、ひとつの特定のテーマを設定し、国際社会の関心を喚起し、取り組みを促すため」に「国際年」を制定しています。国連はその一環として2023年12月に、2025年を2012年に続く2回目の国際協同組合年に決めました。

## 2025国際協同組合年の活動目標

1

### 協同組合に対する理解を促進し、認知度を高めま

- 協同組合が地域社会の課題解決や持続可能な開発目標（SDGs）への貢献など公益的役割を果たしていることを発信します。
- 活動を通じて、協同組合をめぐる諸制度の整備に向けた機運醸成を目指します。

2

### 協同組合の事業・活動・組織の充実を通じてSDGs達成に貢献しま

- 事業や活動を通じてSDGs達成にいっそう貢献し、協同組合の理解者・共感者、そして組合員を増やします。

3

### 地域課題解決のため協同組合間連携やさまざまな組織との連携を進めま

- 複雑化・深刻化する地域課題の解決に向けて、協同組合同士やさまざまな組織と連携して取り組みを進めます。

4

### 国際機関や海外の協同組合とのつながりを強めま

- 国連機関や国際協同組合同盟（ICA）、世界の協同組合と連携し活動します。
- 世界の協同組合から学ぶとともに、日本の協同組合の取り組みを発信します。

## 「学び」「実践し」「発信する」取り組みを進めま

1 学び

- 2025国際協同組合年について組合員・役職員の間で共有しましょう。
- 「協同組合のアイデンティティに関するICA声明」について学習しましょう。
- 持続可能な社会の実現に向けた自組織の取り組みを学習しましょう。

2 実践

- 「学び」を通じて見えてきた課題について話し合い、さらなる実践につなげていきましょう。

3 発信

- こうした組合員・役職員の学び、実践を社会に積極的に発信しましょう。

令和6年度 栃木県優良木材展示会を開催

令和6年度栃木県優良木材展示会が鹿沼木材共販所（10月24日）、矢板木材共販所（11月8日）、大田原木材共販所（10月31日）において、栃木県との共催で開催しました。

展示会の開催は関係森林組合のご尽力はもとより、組合員の皆様をはじめとします関係各位のご協力の賜物です。心より感謝申し上げます。



優良材の展示（鹿沼木材共販所）

結果概要

会場	月日	数量 (m <sup>3</sup> )		販売率 (%)	販売金額 (千円)	販売単価 (円/m <sup>3</sup> )	応札者数
		出荷数量	販売数量				
鹿沼	10/24	3,945	3,945	100	64,224	16,282	67
矢板	11/8	3,037	3,037	100	47,266	15,563	40
大田原	10/31	5,538	5,538	100	87,557	15,810	60
合計		12,520	12,520	100	199,047	15,898	167
前年		12,867	12,867	100	229,970	17,872	157
前年比(%)		97	97	100	87	89	106

受賞者のご紹介

入賞者は掲載の方々です。受賞おめでとうございます。

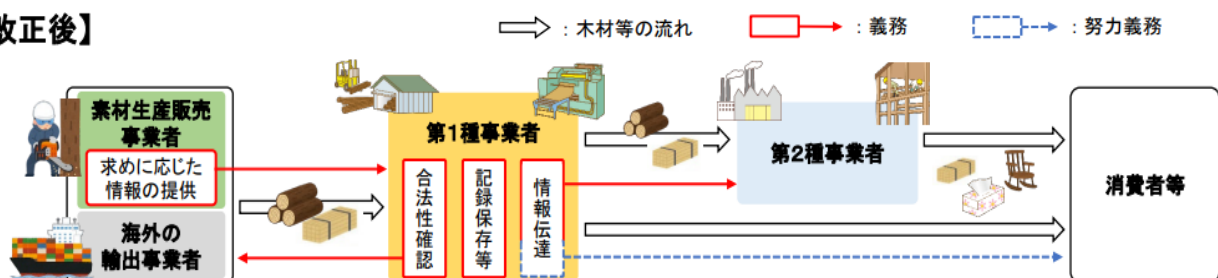
栃木県森林組合連合会長賞

賞種	銘柄	出品者	森林組合	銘柄	出品者	森林組合	銘柄	出品者	森林組合
農林水産大臣賞	スギ 小丸太	室井 章	那須塩原市	スギ 中丸太	富田 伸彦	日光市	スギ 小丸太	大屑 勝美	日光市
				ヒノキ 中丸太	齋藤 正	粟野	ヒノキ 小丸太	羽石 智昭	芳賀地区
林野庁長官賞	スギ 中丸太	大貫 壽一	鹿沼市	スギ 中丸太	鹿沼市森林組合	鹿沼市	スギ 小丸太	神山 和子	粟野
				ヒノキ 小丸太	榎福樹育林	日光市	スギ 大丸太	大山 伸英	粟野
栃木県知事賞	ヒノキ 大丸太	手塚 庄太	日光市	スギ 大丸太	野中 文字	鹿沼市	スギ 中丸太	江面 貴以	宇都宮市
	スギ 大丸太	蓮実 清子外	大田原市	スギ 小丸太	福田 一夫	粟野	スギ 小丸太	神山 恒夫	日光市
	スギ 小丸太	青木 孝子	たかはら	スギ 小丸太	田城 光崇	たかはら	ヒノキ 小丸太	町井共有	たかはら
関東森林管理局長賞	ヒノキ 大丸太	大島 利雄	日光市	スギ 小丸太	手塚 広久	たかはら	ヒノキ 小丸太	江連 敏明	たかはら
	スギ 大丸太	宇都野 淳	たかはら	ヒノキ 小丸太	田中 幸夫	たかはら	ヒノキ 小丸太	国立大学法人宇都宮大学	たかはら
	スギ 大丸太	新井 政一郎	那須南	スギ 中丸太	齋藤 守弘	たかはら	スギ 中丸太	野中 英利	たかはら
				ヒノキ 小丸太	坂本 一志	那須町	スギ 小丸太	湯宮愛林組合	那須塩原市
			スギ 小丸太	小山田 勝利外77名	那須町	スギ 小丸太	露久保 京子	那須南	
			スギ 小丸太	安藤 利雄	那須南	スギ 小丸太	松本 正男	大田原市	
			スギ 大丸太	佐藤 洋一	那須南	スギ 小丸太	渋井 賢	那須町	
			スギ 中丸太	関屋 充雄	大田原市	スギ 小丸太	大野 正孝	那須町	
			スギ 大丸太	雲巖寺	大田原市	スギ 小丸太	後藤 正一	那須町	

改正クリーンウッド法の施行について

合法伐採木材等の流通及び利用の促進に関する法律（クリーンウッド法）の改正が行われ、令和7年4月1日より施行となります。施行に際し、川上・水際木材関連事業者に対し、素材生産販売事業者または、外国の木材輸出事業者から木材等の譲受け等をする場合に、①原材料情報の収集、合法性の確認、②記録の作成・保存、③情報の伝達が義務付けられます。

【改正後】



## ドローンを活用したスマート林業の講師として林業大学校にて講義

近年林業界においては、測量や資材運搬等の労力削減や低コスト化のために、ドローンの活用が進められています。県森連では、令和4年度にスマート林業化促進の一貫として、計5台のドローンを導入し、苗木や獣害対策資材運搬、薬剤散布の業務委託をいただくなど、徐々に活用を進めてきました。



機体の説明の様子

令和6年4月に開校した栃木県林業大学校でも、林業の最新技術としてドローン技術を学ぶ科目があります。委託を受け、県森連が行ってきたドローンによる荷役運搬の実績に基づいて、令和6年11月に講義を行いました。

1日目には、資材運搬ドローンについての概要やドローンを飛行させるために必要な法令について解説しました。続いて、運搬工程、現場の下見から飛行ルートを選定、1日の運搬量など具体的な運用方法についてを説明しました。



操縦体験する林大生

2日目には学生の皆さんに、運搬ドローンの操作を体験していただきました。実習は県森連職員の指導のもと、県民の森駐車場で実施し、ドローンの機体の大きさや音、風力を実際に肌で感じていただきました。

県森連のドローン運用のノウハウが、今後の栃木県の林業を担う、学生の皆さんの学びに貢献できていれば幸いです。今後もより一層ドローンを活用し、スマート林業の推進に力を入れていきます。

## しいたけ原木の配送が開始



令和6年12月下旬に大分県から入荷した原木

東日本大震災に伴う原発事故から10年以上が経過しますが、県内のしいたけ原木林は広範囲に汚染され、依然として安全な原木の需要を賅える状況にあるとは言えません。

そのため県森連では、平成24年から引き続き、安全、安心な原木を供給するため、西日本産原木を中心に県外からしいたけ原木を移入しています。令和5年から6年にかけては、全国森林組合連合会を通じて大分県、愛媛県、熊本県から約14万本の原木を調達しました。

令和7年1月になり、本年分の配送を開始しております。今後もより多くの生産者様に配分できるよう、調達や検品等を行ってまいります。

さらに、一日も早く県内産の安全な原木を生産者にご利用いただくため、県内原木林の萌芽更新や植栽による再生に向けた実証的な取組も引き続き行ってまいります。



トラックで配送される原木

「緑の雇用」による人材育成研修の実施

森林ワーカーの技能向上を図るため、本会では林業経験の少ないワーカーを対象に講習や実習を行う「緑の雇用」事業による研修を実施しています。今年も、本格就業前のTR研修、FW1-3研修、FL研修、FM研修など、次のとおり合計70名の方々に研修に参加いただきました。

「緑の雇用」研修事業の取組結果

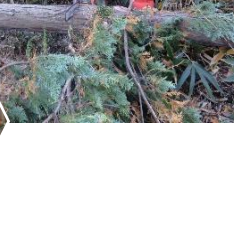
(単位：人)

事業体名	TR研修	FW研修			FL研修	FM研修
		1年目	2年目	3年目		
たかはら森林組合	3	2	2	1	1	
栗野森林組合				3	2	
那須町森林組合	1	2	2		2	1
鹿沼市森林組合	2	2	3		1	
那須南森林組合			1			
大田原市森林組合	3	1	2	1	3	1
芳賀地区森林組合	3		2		2	
みかも森林組合						
日光市森林組合	1	1	2	1	1	
その他民間事業体		2	1	3	9	
計	13	10	15	9	21	2



「林業就業支援講習会」(5日間・20日間)の開催

意欲と能力のある林業就業希望者を確実に確保するため、林業就業支援講習会を開催しました。短期間の5日間コースのほか、林業就業に必要な基礎知識やチェーンソー・刈払い機の資格取得、林業作業の実践も行う長期の20日間コースを実施しました。



「森林の仕事ガイダンス」の開催

優秀な林業人材を確保するため、東京都で開催された中央ガイダンスに参加したほか、11月30日(土)に宇都宮市内で「森林の仕事ガイダンス」を開催しました。参加者は、本県在住者を含む関東全域から19人が相談に来場されました。年齢は20代から50代と幅広く、平均年齢は45.7歳でした。7森林組合を含む13の林業事業体のブースでは、仕事の内容や待遇、採用までの流れ等について、予定時間を超過するなど熱心な質疑・応答が続き、活気あるガイダンスとなりました。



### 県民の森のコーナー



「たかはらの森管理グループ」（栃木県森林組合連合会、たかはら森林組合、高原林産株式会社）は、栃木県県民の森の指定管理業務を平成25年4月1日から開始し、令和6年度で12年目を迎えています。

今期の指定管理期間は、令和8年3月31日までとなっております。令和7年度も栃木県県民の森の指定管理者として引き続き管理、運営を行います。

これまでの経験と実績を活かしながら、お客様が安心して県民の森をご利用いただけるようスタッフ一同万全の体制で、接客対応をさせていただきます。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

県民の森は、県民の皆さんに豊かな自然とのふれあいを楽しんでいただくため、昭和49年に明治100年を記念して設置され、令和6年度で設立50周年となりました。それを記念し展示館スタッフ描き下ろし「スペシャルステッカー」を4月～11月の毎月先着100名に配布するイベントを実施致しました。全種類集めた方も多く、ご好評の声をいただくことができました。

また、令和6年度の新たな取組として、県民の森、山の駅たかはら、森林の駅もみじ谷大つり橋の3施設合同で「森へ行こうよスタンプラリー」を7月～8月に実施いたしました。

今後も周辺施設との協力関係を維持し、たかはらの森の活性化を図ります。

最後に、利用者からご意見の多い「ヤマビル被害」については薬剤散布、落ち葉の除去等の対策を実施し、被害を最小限に留めるよう尽力し、利用者サービスの向上につとめます。

**森へ行こうよスタンプラリー**  
 ゴール地点で異なるプレゼント3つ集めてゲットしよう！

山の駅たかはら ゴール特典  
山の駅たかはら商品券 500円分

森林の駅 ゴール特典  
菓子袋 500円分

県民の森 ゴール特典  
道の駅たかはら商品券 500円分プレゼント

山の駅たかはら  
スターライトキャンプスペース

森林の駅 もみじ谷大吊橋

キャンプ場「Star Light Camp Base」は、標高1049mの高場から見る雄姿と、矢張市の夜景が楽しめます。

もみじ谷大吊橋は、塩原温泉の玄関口に位置する複合観光施設で、売店、レストラン、直売所、ソフトクリームコーナーがあります。今回、恋人の聖地モニュメント、専用アトラクともリニューアルオープンいたしました。

山の駅たかはら、安曇平下野地区に位置するアウトドアの拠点施設。八方ヶ原の雄大な自然景観を保全しながら観光施設としてご利用いただけます。レストラン・休憩・お土産の他、ハイキングや夏の軽便車などのイベントや、フリークライミングやカヌーなどアウトドアレジャーも提供し、四季を通じて楽しむことができます。

恋人の聖地モニュメント完成！  
もみじ谷大吊橋

営業時間/月曜～日曜 9:00～16:00（休館休業）  
お問合せ/山の駅たかはら tel. 0287-43-1915

お問合せ/県民の森管理事務所 tel. 0287-43-0479



### 県民の森で冬に観察できる野鳥たち



ルリビタキ

体色は美しい瑠璃色で脇が山吹色なのが特徴です。春から夏は高地に生息しており、冬になると低い山地などに降りてきて越冬します。



シジュウカラ

シジュウカラなどのカラ類やエナガなどの小鳥は冬になると混群という別種同士で群れを形成します。そのため1度に何種類かの野鳥が観察できます。



ヒレンジャク



キレンジャク

この2種はとても似ていますが尾の色で区別が可能です。共にヤドリギの実を好んでおり、県民の森では展示館周辺で観察できるかもしれません。

### あとがき

県森連の最新情報を、ホームページに掲載中です。随時更新しておりますので、是非、ご覧ください。